



Bank of Yokohama

個人投資家向け会社説明会

平成26年8月
横浜銀行



本日、お話しする内容 〔目次〕

1. 横浜銀行について

2. 横浜銀行の取り組み

3. 横浜銀行の業績

4. 株主の皆さまへの取り組み

5. 横浜銀行と他行の違い

6. 横浜銀行のさらなる成長

参考資料



横浜銀行の4つの特徴

金融サービスの拡大により**高い収益力**を維持しています

P17

効率的な経営で**低い経費率**を実現しています

P18

積極的な株主還元を実施しています

P20

グローバルな投資基準を満たした**魅力的な株式銘柄**です

P21

1. 横浜銀行について～横浜銀行の歩み

- **大正9年 横浜興信銀行設立**
地元財界の総意のもと、横浜最大の普通銀行であった**七十四銀行の破たん処理のため設立**
- **昭和3年 第二銀行の営業譲渡を受ける**
第二銀行の前身は明治2年に設立された横浜為替会社(日本初の会社組織の金融機関)であり、この横浜為替会社を起点とすると、**当行は145年の歴史を持つ日本で最も歴史の長い銀行といえます**
- **昭和20年 神奈川県唯一の地方銀行となる**
これまでに31行の銀行と合同
- **昭和32年 横浜銀行へ行名変更**
- **昭和36年 東証一部へ上場**
- **昭和44年 預金残高が地方銀行トップとなる**
積極的に海外展開(ピーク時の海外拠点は5支店、7駐在員事務所、4現地法人)をおこない、ミニ都銀を目指す
- **昭和62年 上場最高値2,200円を記録**
バブル景気を背景に、順調に業績を拡大
- **平成9・10年 公的資金を導入**
バブル崩壊後に海外業務から撤退し、**神奈川県に回帰**。平成16年**公的資金完済**
- **平成20年 浜銀TT証券株式会社の営業開始**
東海東京証券との共同出資により**証券子会社を設立**
- **平成21年 上海支店開設**
お客さまのアジア進出支援強化のため、**上海駐在員事務所から支店へ昇格**
- **平成26年 上海支店における人民元の取扱開始**

1. 横浜銀行について～ポテンシャルの高い営業地盤

- 営業地盤である神奈川県は、人口が増加し、産業構造が大きく変化するなど、新たな成長がつづくポテンシャルの高い地域です。

人口が増加

神奈川県は平成27年まで
横浜市は平成27年まで
川崎市は平成42年まで

- ・出生数は全国2位
- ・個人消費の増加
- ・住宅需要の増加
- ・地価の上昇
- ・病床数の不足

産業構造が変化

2次産業が減少
一方、3次産業が増加

- ・中小企業の海外進出増加
- ・工場跡地の再開発
- ・学術・開発研究機関は全国2位
- ・開業率は全国2位
- ・成長分野の企業が集積

金融ニーズの多様化

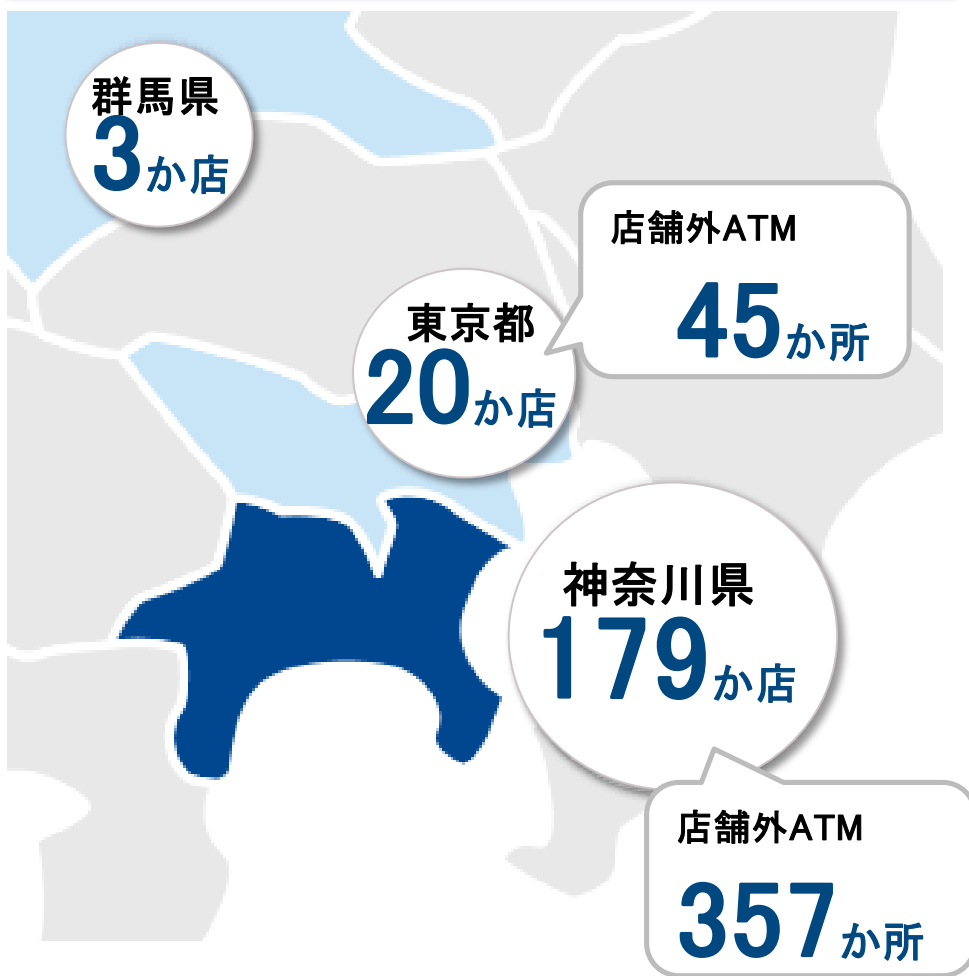
ライフスタイルの多様化に応える
金融サービスへの期待

- ・サラリーマン年収は全国2位
- ・世帯の貯蓄額は全国3位
- ・貯蓄に占める有価証券保有割合は全国1位
- ・相続による資金の流入超大

1. 横浜銀行について～充実した店舗網

- 神奈川県と東京西南部の稠密な店舗網で、金融サービスをどこよりも身近に提供しています。

充実した県内店舗網



(注)有人店舗数(H26年3月)

浜銀TT証券との共同店舗

- ・子会社の証券会社である浜銀TT証券との共同店舗を展開
- ・ワンストップで幅広い資産運用商品をご提供

総拠点:16拠点

浜銀TT証券単独:5支店

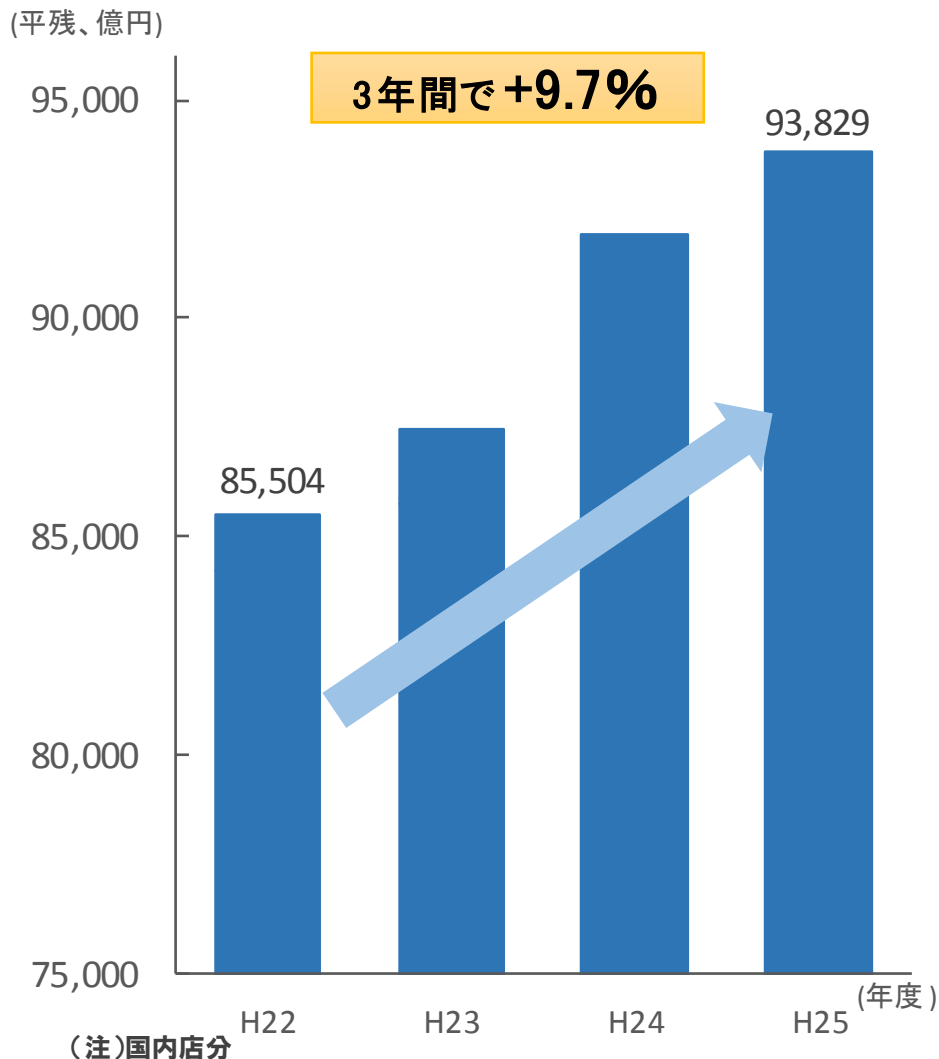
共同店舗・ブース:11拠点

- 本店営業部
- 横須賀支店
- 中山支店
- 小田原支店
- 厚木支店
- あざみ野支店
- 日吉支店
- 溝口支店
- コンサルティングブース玉川
- コンサルティングブース鎌倉
- コンサルティングブース相模大野

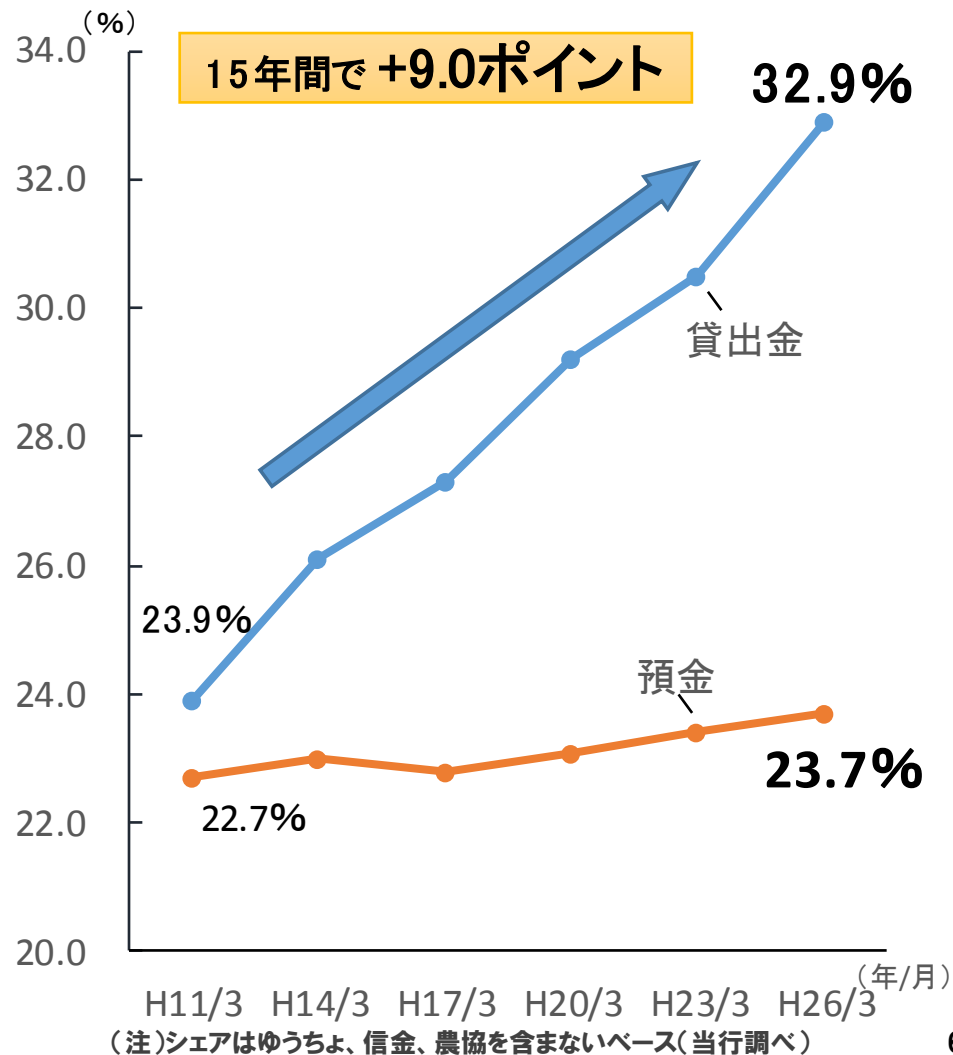
2. 横浜銀行の取り組み～貸出金の推移と、貸出シェアの拡大

■ 貸出金が着実に増加し、神奈川県内の貸出シェアが拡大しています。

貸出金の推移



神奈川県内預貸金シェアの推移



2. 横浜銀行の取り組み～地域の皆さまのお役に立つ銀行①

- お客さまの幅広いニーズにお応えするため、住まいづくりをサポートする「住宅ローン」をはじめ、さまざまなローンをご用意しています。

住宅ローン

- ・充実の26ローンセンター態勢
- ・専門スタッフによる日曜営業も実施
- ・金利種類変更などのお手続きを便利なインターネットバンキングで原則24時間受付

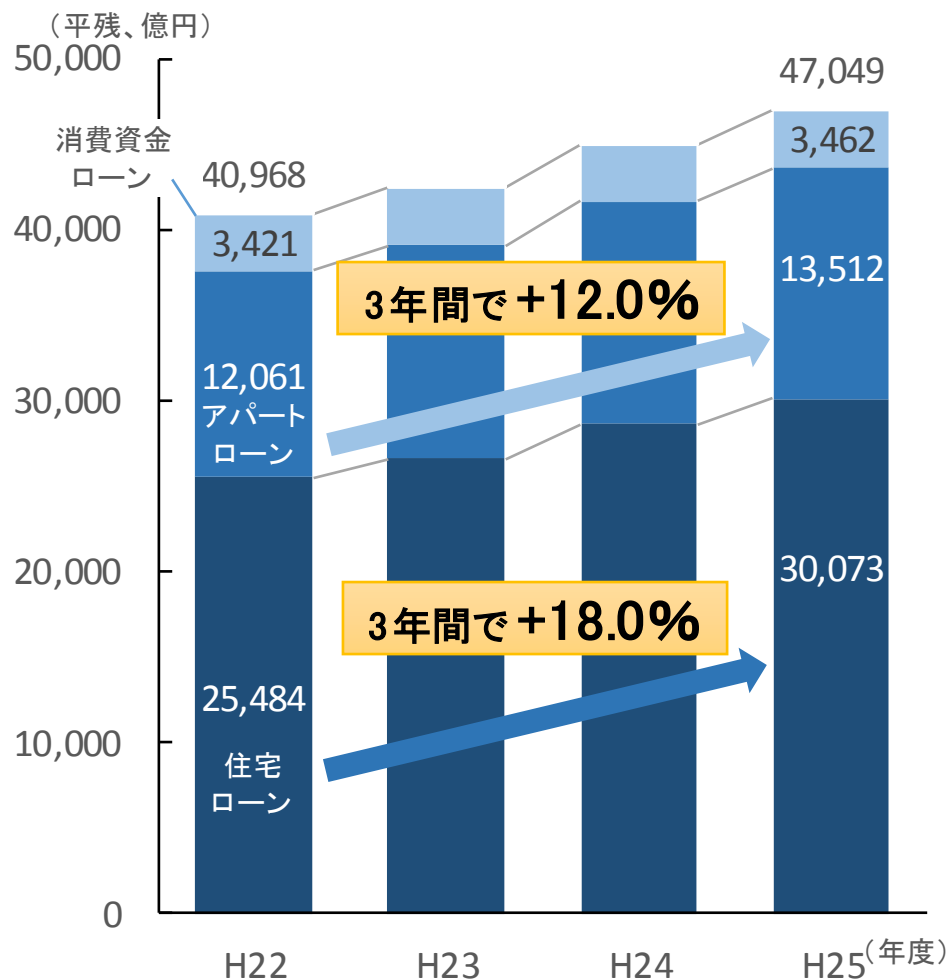
アパートローン

- ・資産承継コンサルティングを強化
- ・本部専門スタッフを増員し、お客さまの土地活用等に対するサポート態勢をさらに強化

消費資金ローン

- ・新商品「横浜銀行カードローン」を導入
- ・ローンの商品性を見直し、利便性を向上

個人ローンの成長推移



2. 横浜銀行の取り組み～地域の皆さまのお役に立つ銀行②

- お客さまの資産に関する幅広いニーズにお応えするため、「まもる」「ふやす」ニーズに対応した商品などを取り揃えています。

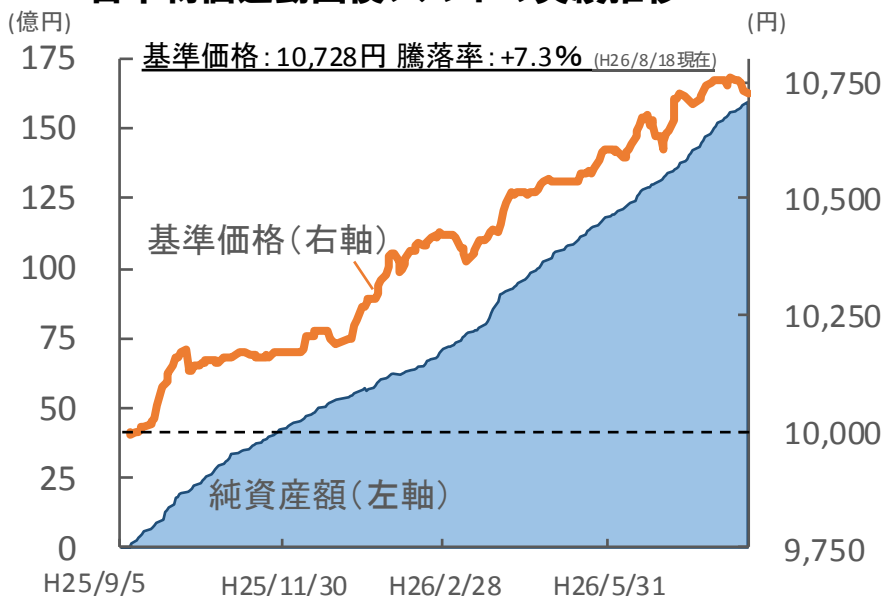
投資型商品

- ・投資信託や保険などの幅広い品揃え
- ・身近な店舗で資産運用相談に対応

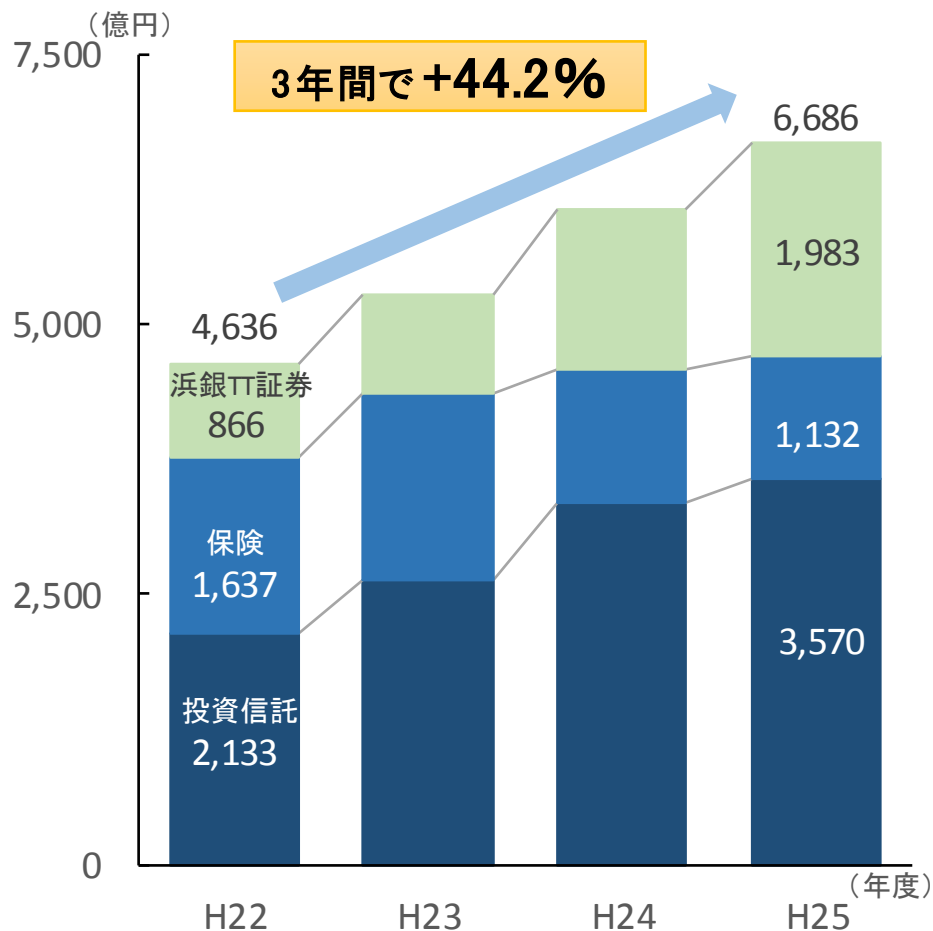
「まもる」ニーズにお応えするため

たとえば・・・ 日本物価連動国債ファンドを販売

日本物価連動国債ファンドの実績推移



投資型商品販売額の推移



(注) 浜銀TT証券は株式、債券、投資信託、年金保険、外債・仕組債の販売額

2. 横浜銀行の取り組み～地域の皆さまのお役に立つ銀行③

- 長寿社会におけるニーズに外部機関と連携してお応えしています。

相続・信託関連業務

- ・外部機関との提携を強化
- ・個人信託や遺言信託など幅広い信託サービスの取り扱い

【提携外部機関の一例】

朝日信託

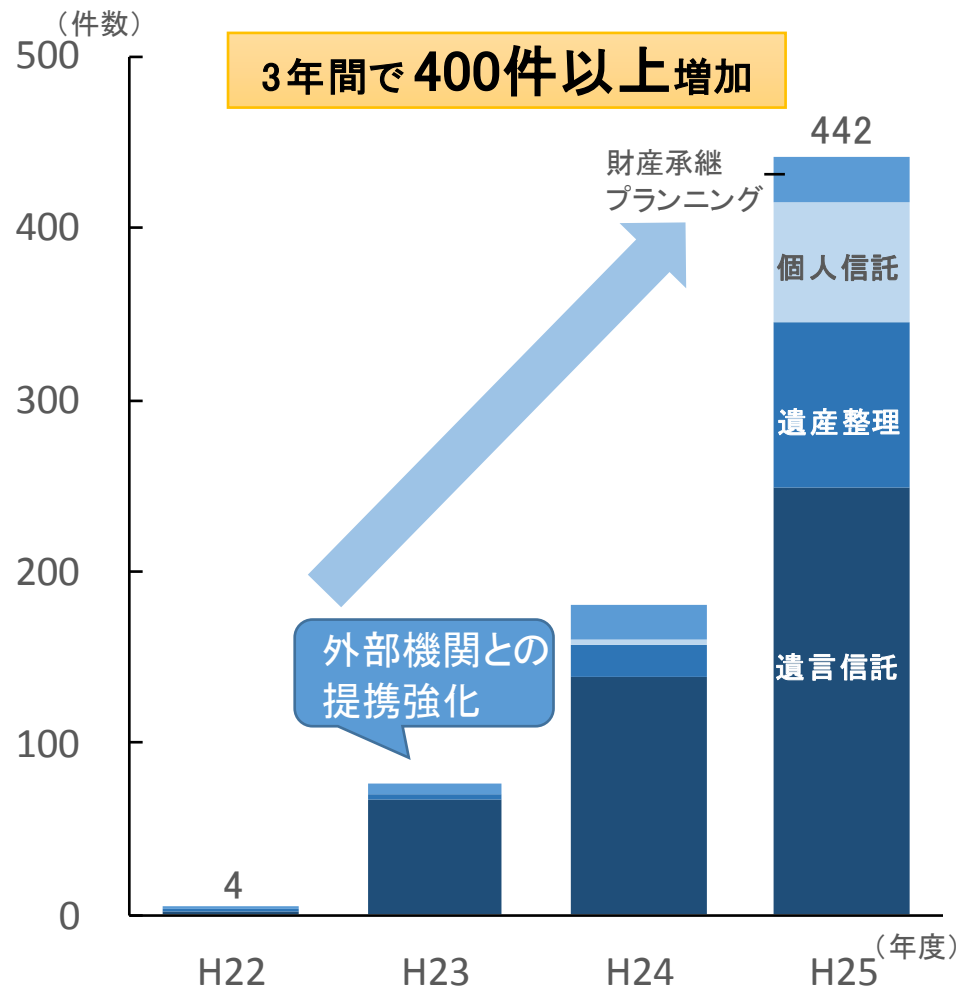
個人信託、遺言信託、遺産整理業務、
財産承継プランニング

- ・地銀9行で出資(9.5%)
- ・地銀22行で共同研究会設置

山田エスクロー信託

遺言信託、遺産整理業務

相続・信託関連業務の成約件数



2. 横浜銀行の取り組み～地域の皆さまのお役に立つ銀行④

■ 長いお取引関係を大切にし、お客さまの課題を一緒に解決しています。

お客さまの課題

ライフイベントに応じた
さまざまなニーズ

地価の上昇
相続税対象者の増加

老後資金への不安
インフレによる金融
資産の目減り

当行の取り組み

教育、住宅などの目的別
ローン、カードローン、保
障性保険のご提案

お近くの支店で相続セミ
ナーを開催

アパートローンや教育資
金贈与信託など資産活
用のご提案

お近くの支店で投資セミ
ナーを開催

個人信託の活用など、多
様な運用のご提案

お客さまの利便性を考えて

・一部の店舗で土日祝日営業や
15時以降の営業を実施



横浜プレミアムラウンジ

・資産運用や相続、遺言信託など
のご相談・ご提案を専門におこなっ
ています



玉川コンサルティングプラザ

・資産運用、各種ローン、事業性融
資など、幅広い相談をおこなって
います



湘南シークロス支店

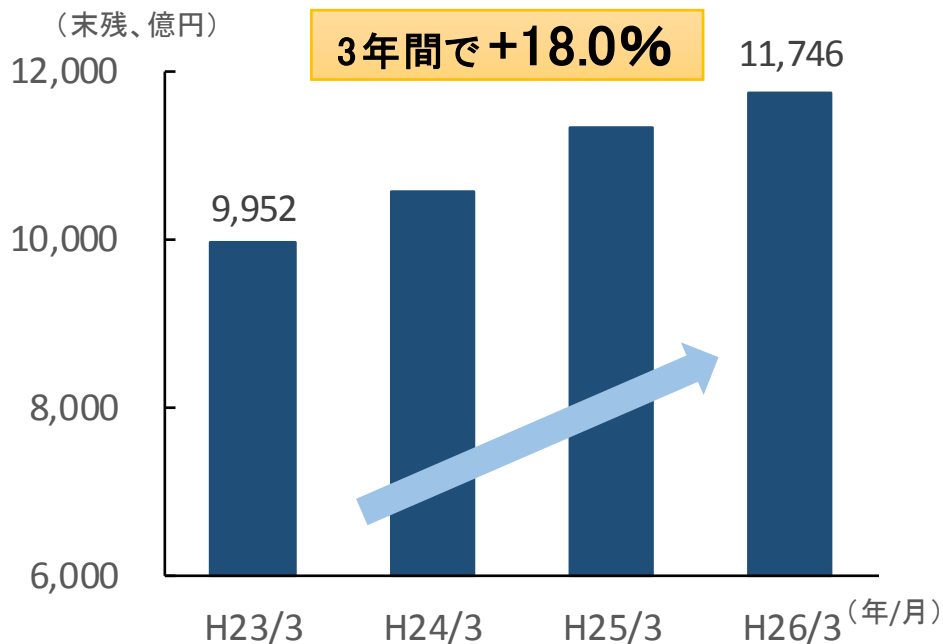
・資産運用、住宅ローンや保障性保
険のご相談をおこなっています
・キッズルーム設置

2. 横浜銀行の取り組み～法人のお客さまのニーズにお応えする銀行

- お取引先企業との接点を拡大し、成長分野向け融資を中心に設備投資向けの資金を提供しています。

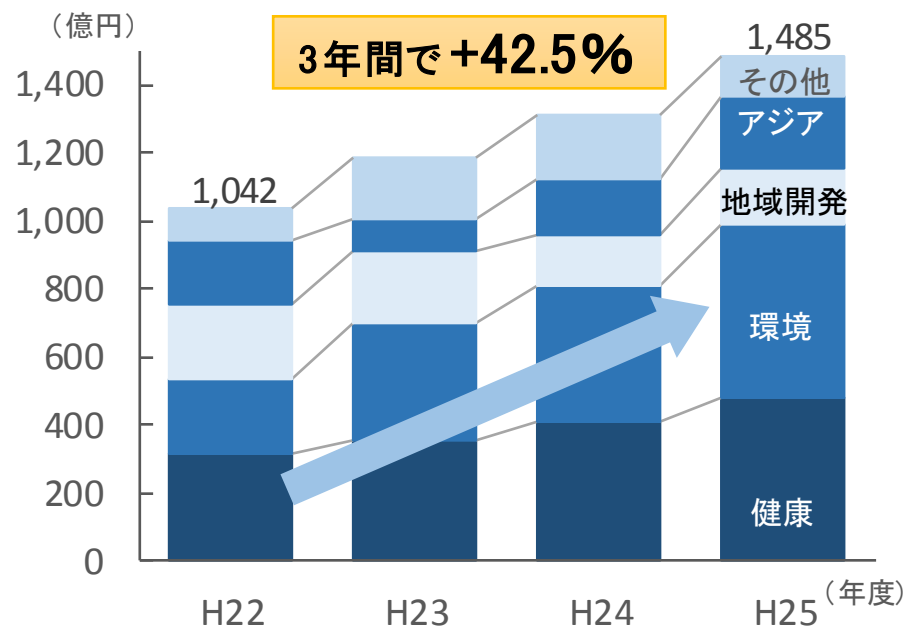
中小企業の設備投資向け貸出の推移

- ・神奈川県内の中小企業の設備投資に回復の兆し
- ・セミナーや本部専門スタッフの同行訪問などお客さまへの補助金制度等の情報提供を強化



成長分野向け融資実行額の推移

- ・環境(太陽光発電)や医療・福祉分野向けの資金需要が旺盛
- ・成長支援ファンド設置や、本部専門部署の増員など、成長分野向け融資への取り組みを強化



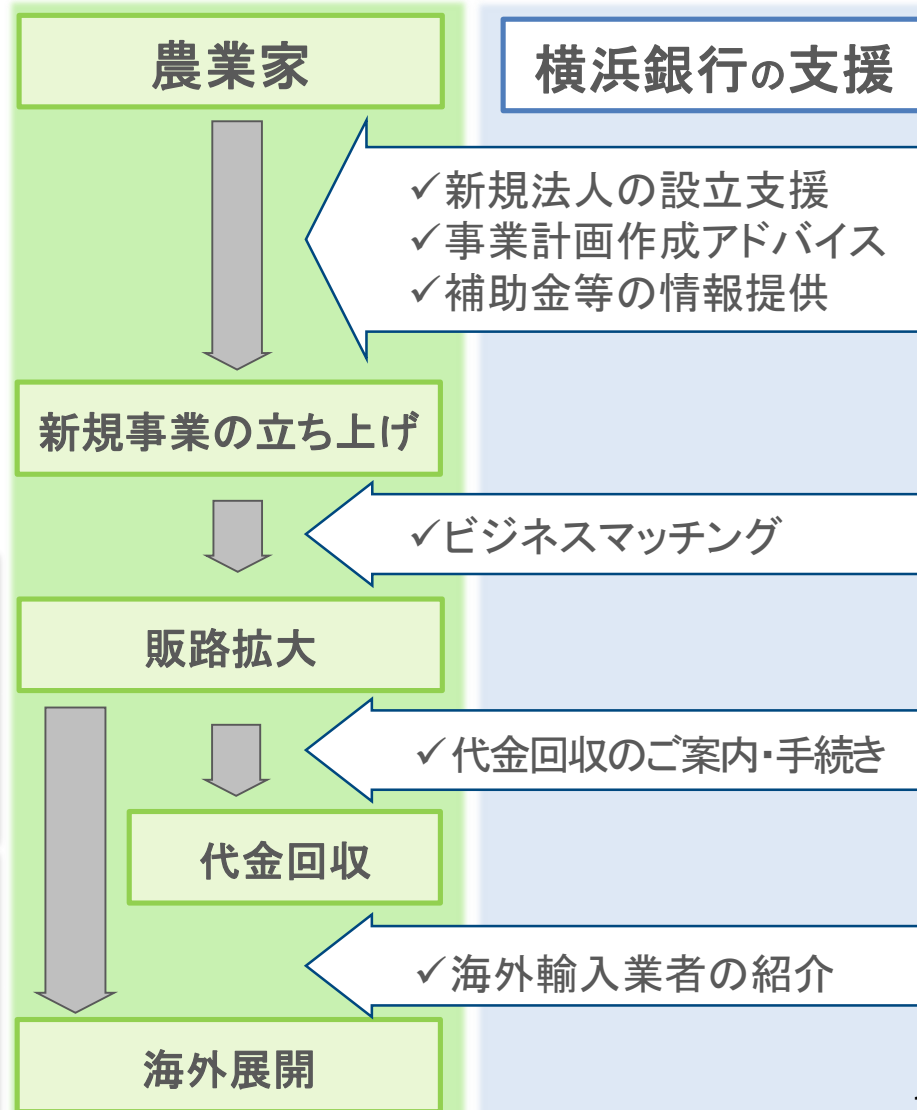
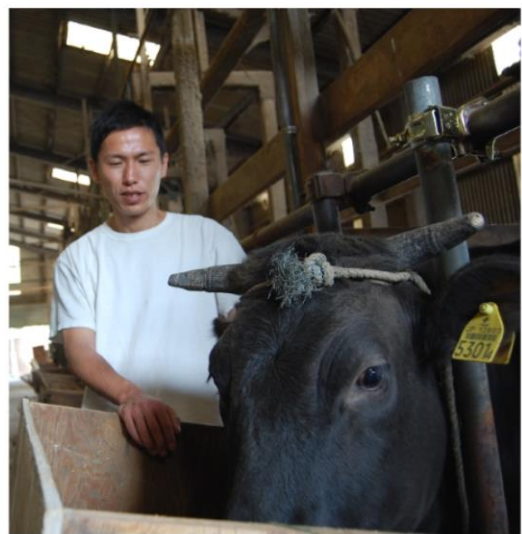
2. 横浜銀行の取り組み～挑戦する経営者を応援する銀行①

■ さまざまな金融サービスで、お客さまの課題を一緒に解決します。

挑戦する経営者への支援

- ・新規法人の設立支援
- ・補助金や公的補助制度の情報提供
- ・地公体や他機関と連携した事業支援
- ・海外輸入業者紹介などビジネスマッチング

たとえば・・・ 県内初となる牛肉の輸出を実現



2. 横浜銀行の取り組み～挑戦する経営者を応援する銀行②

■ 身近な地域金融機関だからできる、いろいろな出会いを提供します。

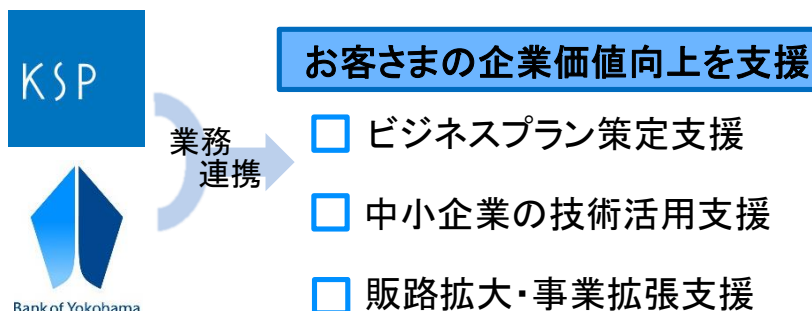
ビジネスマッチング件数

- 省エネ設備、病院・福祉介護施設の建設、太陽光発電設備まで幅広くご紹介
- 年間で1,000件を超えるお客さま同士の面談をアレンジ

創業・成長支援態勢を強化

KSPと新たに業務提携し、創業や事業化、事業拡大をお手伝い

KSP:国内初の研究開発型企业育成施設「かながわサイエンスパーク」の運営会社です

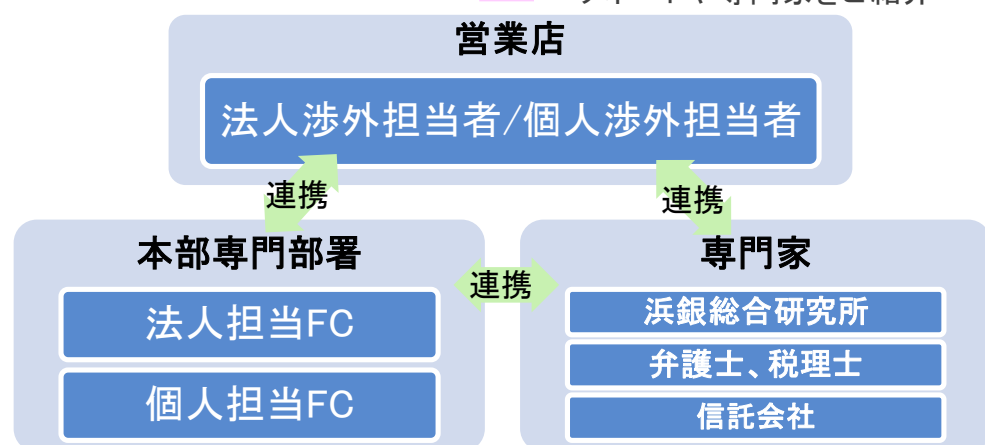


事業承継も全面的にサポート

- 会社オーナーとしての資産承継ニーズ
資産を有効活用しつつ、相続税対策や、資産を引き継ぐ
- 経営者としての事業承継ニーズ
事業の成長性や、従業員を守りつつ次世代に経営を円滑に引き継ぐ



営業店からお客さまに適したサポートや専門家をご紹介



FC:フィナンシャルコンサルタント

2. 横浜銀行の取り組み～法人のお客さまの海外進出を支援する銀行

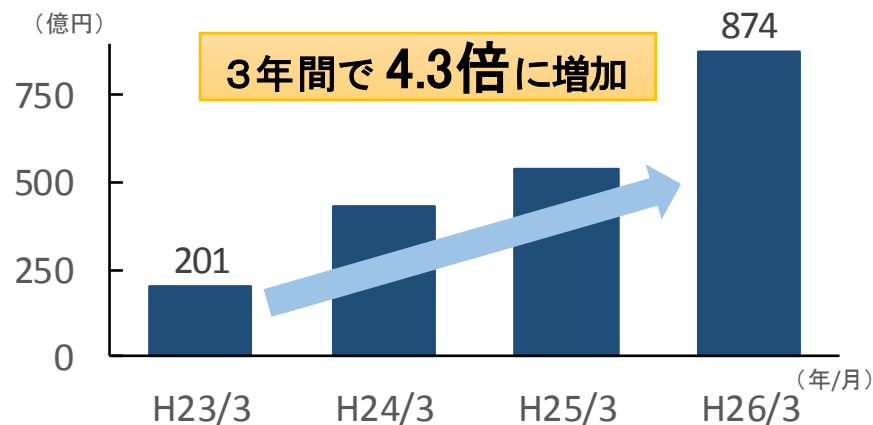
- 上海支店において、現地通貨である人民元の取り扱いを開始するなど、海外進出するお取引先の支援態勢を強化しています。

アジアにおける支援態勢

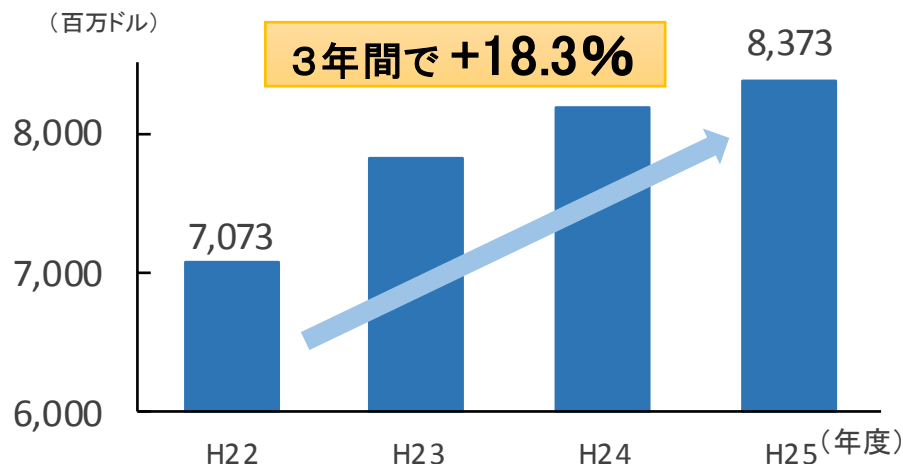


()内の人数は横浜銀行からの出向者数
(注)社数は当行お客さまの進出数。なお、中国は現地法人ベース。

海外向け与信残高の増加



外為取扱高の増加



(注)法人、公共、金融法人の合計

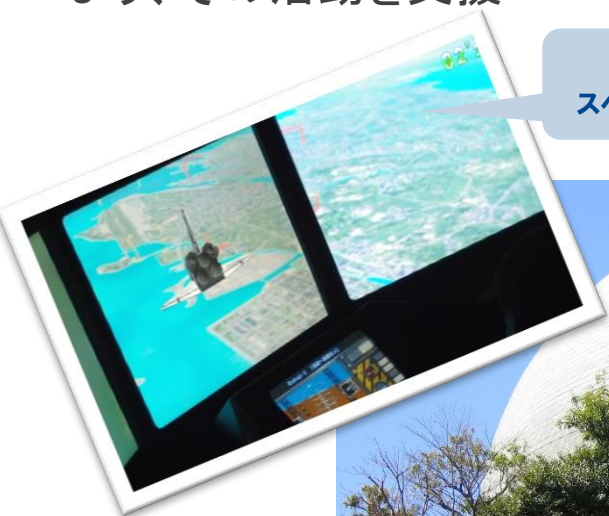
2. 横浜銀行の取り組み～CSR活動に積極的に取り組む銀行

- 地域の未来のために、次世代を担う子ども達の育成など、地域のさらなる活性化と発展につながる活動を行っています。

はまぎんこども宇宙科学館 HAMAGIN SPACE SCIENCE CENTER

『はまぎんこども宇宙科学館』の命名権を取得し、より多くの子ども達が遊びながら科学を楽しく学べるよう、その活動を支援

常設展で日本初！
スペースシュミレーターを寄贈



ほかにも

横浜銀行サッカー教室

川崎フロンターレのコーチ陣を迎えて、幼稚園児や小学生を対象にサッカー教室を開催



ヨコハマ・ポップス・オーケストラ ファミリークラシック

神奈川フィルハーモニー管弦楽団と連携して家族向けコンサートを開催



2. 横浜銀行の取り組み～安心・安全にご利用いただける銀行

- 振り込め詐欺防止や、プライバシーを確保した窓口、ご高齢のお客さまに配慮した店作りなどにより、安心・安全にお使いいただけます。

振り込め詐欺の防止

- ・窓口での現金引き出しの際にお声かけすることで、水際での防止に努めています

- ✓ 平成25年度は計209件、約6億円の被害を防止
- ✓ 警察署から感謝状を授与されました



現金手渡し詐欺の防止

- ・神奈川県警察本部と協力し、現金手渡し詐欺被害の防止に努めています。
- ・ご高齢のお客さまが現金出金を希望する場合、お振り込みまたは預金小切手のご活用を提案
- ・その際は、預金小切手発行手数料と振込手数料をいただきません

安心して相談できる窓口

- ・個別ブースによりプライバシーを確保した窓口



優先席の設置

- ・ご高齢のお客さまや障がいのあるお客さまにやさしい店作り

肘掛けがあり、座面が高く硬いので、足腰への負担を軽減



3. 横浜銀行の業績～業務粗利益の回復

■ 収益源の多様化により、5年ぶりに業務粗利益が反転しました。

資金利益の減少を抑制

- ・ 個人のお客さまの資金ニーズにきめ細かくお応えした結果、個人ローンが増加し資金利益の減少を抑制

役務収益源の多様化

- ・ 個人のお客さまの資産運用や相続、法人のお客さまの事業課題に関するコンサルティングニーズにお応えした結果、役務収益が増加

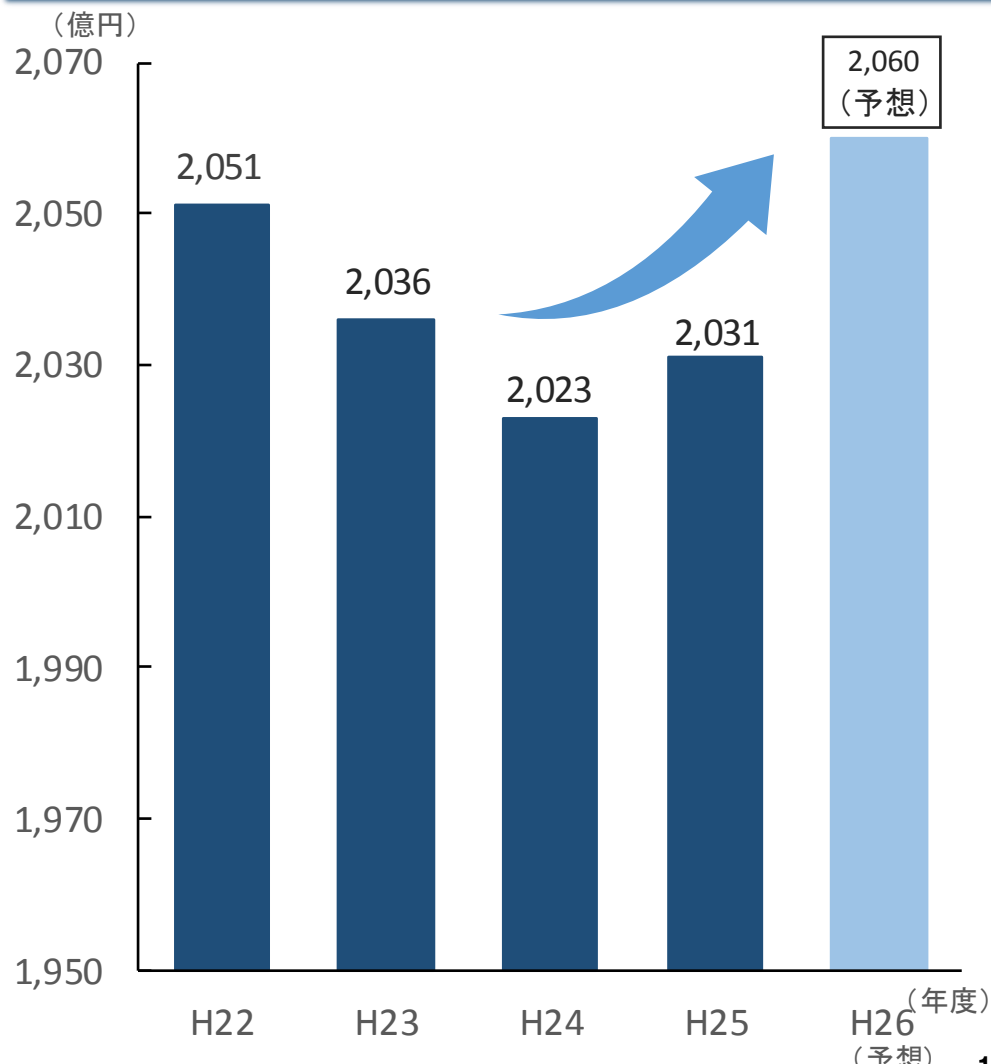
有価証券運用による増益

- ・ 国債のリスクを極小化しつつ、分散投資等により、効率的なポートフォリオを構築し運用収益が増加

国際業務部門利益の増加

- ・ 海外進出するお客さま向けの支援を積極展開した結果、国際業務部門の利益が増加

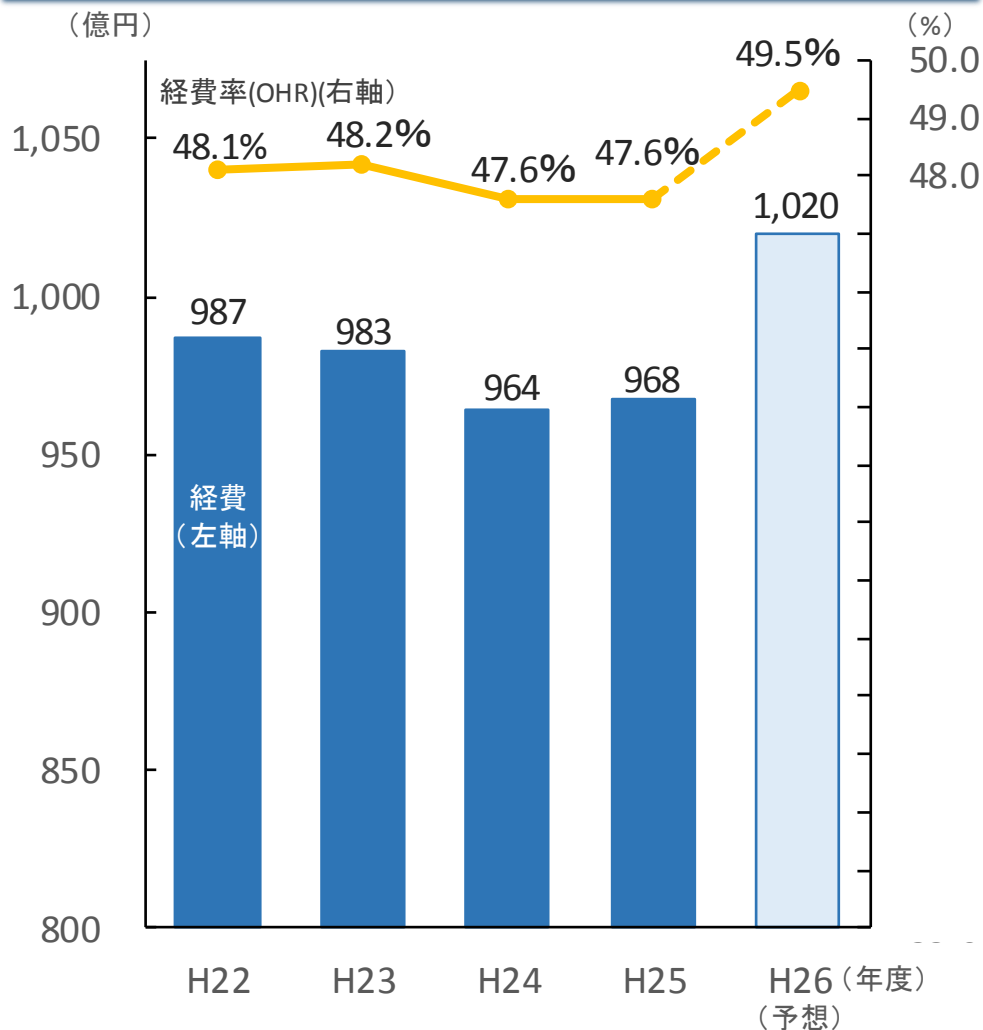
業務粗利益の反転



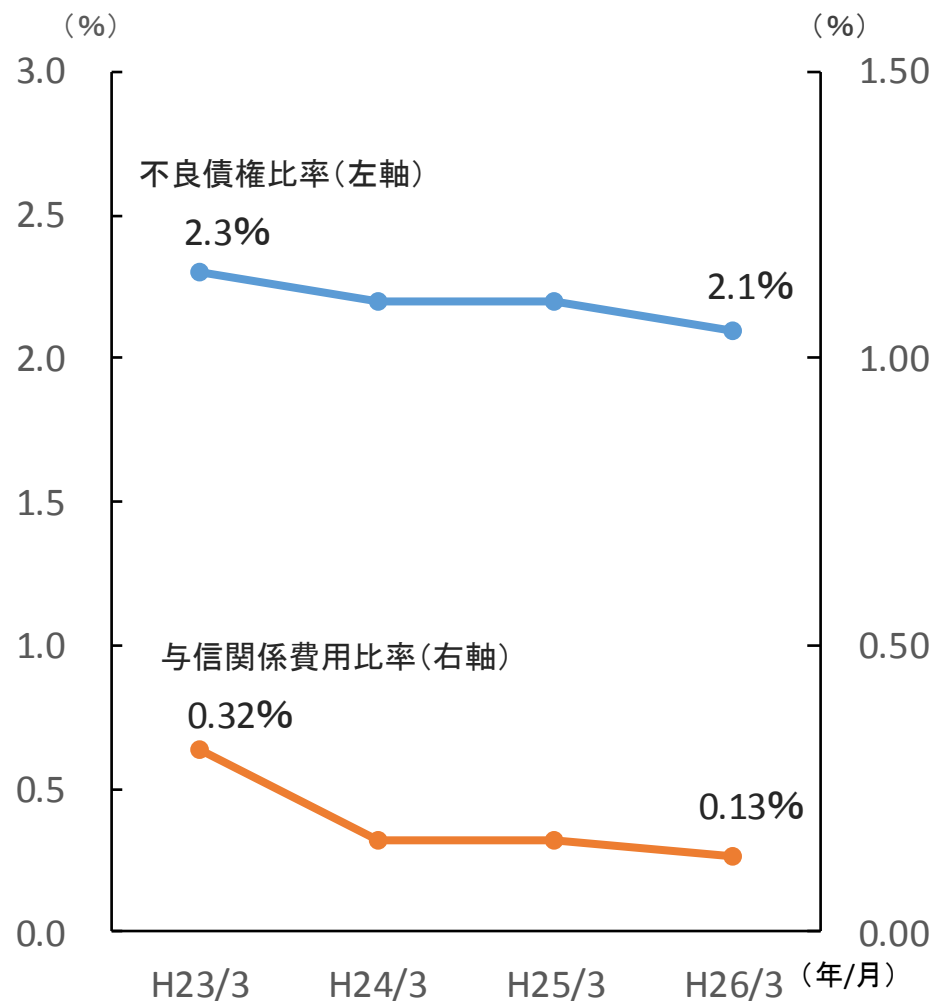
3. 横浜銀行の業績～高い効率性

■ 適切な費用コントロールと与信管理で、高い効率性を維持しています。

低い経費率の維持



与信コストの低位維持



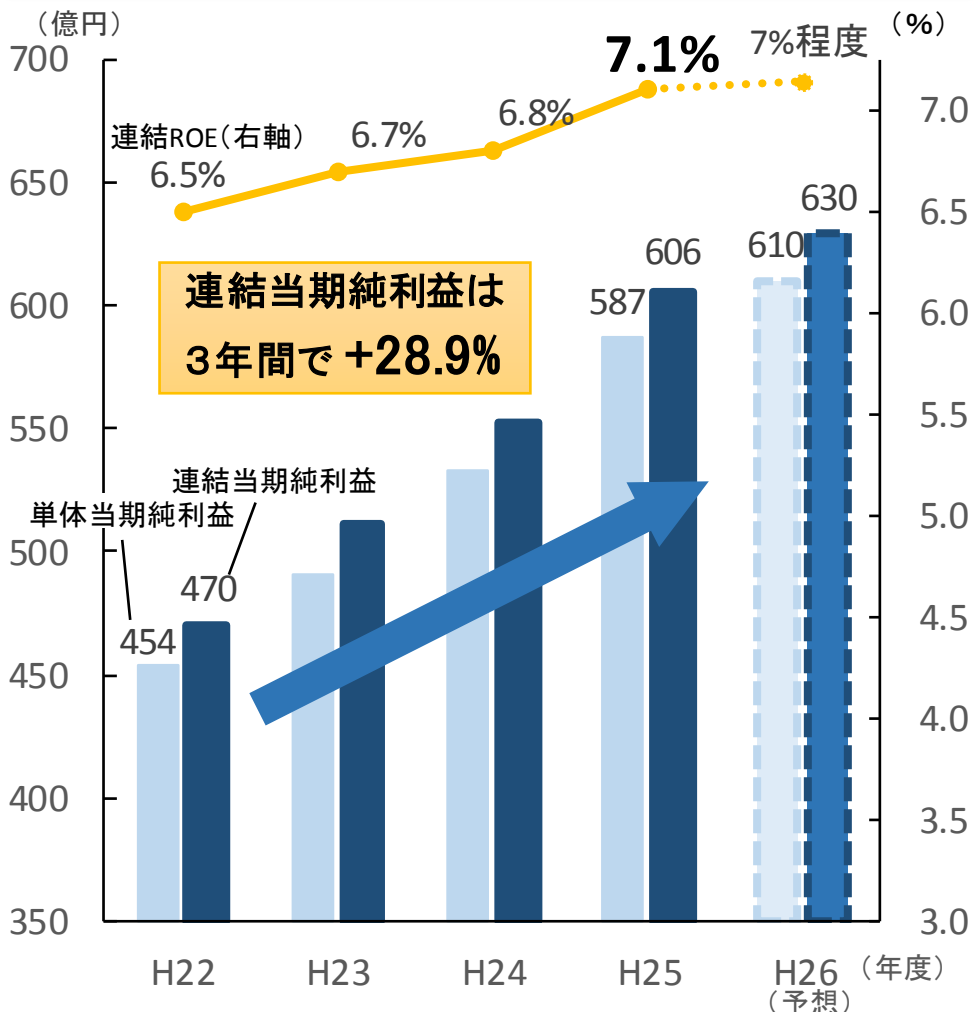
(注1)経費率(OHR):経費÷業務粗利益(数値が低いほど経費の効率性が高い)
 (注2)H26年度の経費予想は、預金保険料の戻入(約16億円)を織り込み済み

(注)与信関係費用比率(年度ベース):与信関係費用÷貸出平残

3. 横浜銀行の業績～高い収益力と充実した自己資本

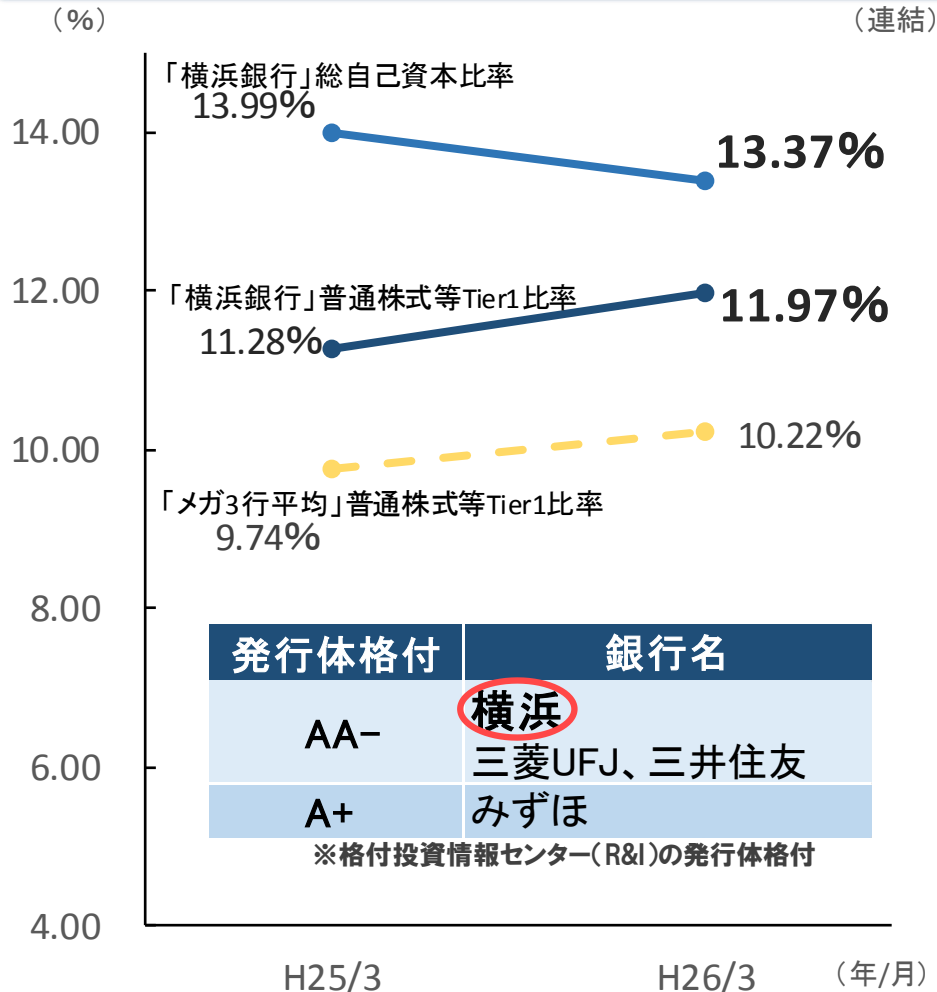
■ 高い収益力を実現し、安定した経営基盤を築いています。

当期純利益の確実な成長



(注)連結ROE:当期純利益÷純資産(期初と期末の平均・新株予約権および少数株主持分を除く)

強靱な経営基盤の維持



(注)自己資本比率規制(国際統一基準)、経過措置ベース

4. 株主の皆さまへの取り組み～積極的な株主還元

■ 明確な利益還元方針を掲げ、積極的に株主還元を実施しています。

横浜銀行の利益還元方針(平成25年度～平成27年度)と実績

普通配当
(A)

業績にかかわらず安定的に年11円
お支払い

H24年度比 1円増

特別配当
(B)

年度の連結当期純利益が550億円を
上回る場合には、特別配当を実施

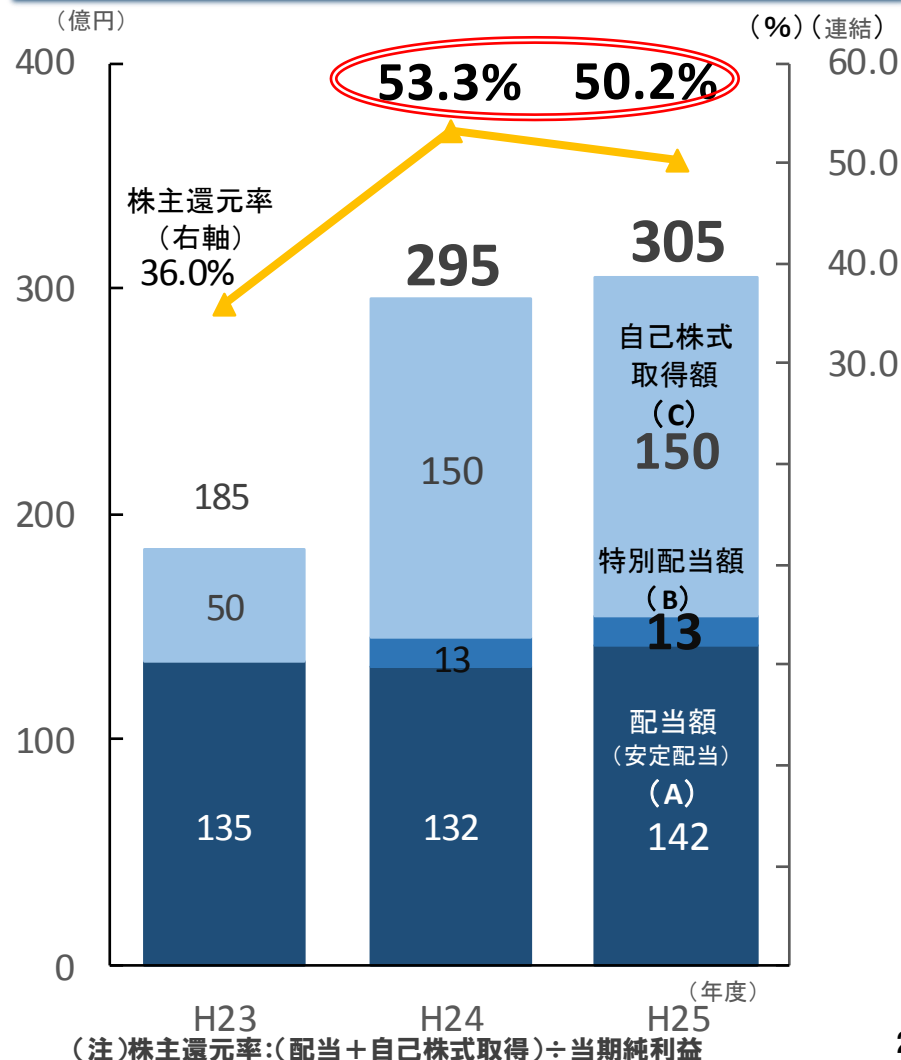
H25年度 1円

機動的な
自己株式取得
(C)

市場動向や業績見通しなどを勘案のうえ、
機動的に自己株式を取得

H25年度 150億円

株主還元の推移



4. 株主の皆さまへの取り組み～魅力ある株式銘柄として

- 積極的な情報発信のため、国内外の株主や投資家の皆さま向けに説明会や面談を定期的に行っています。

JPX日経400に採用

- ・資本効率を意識した経営や、公平な情報開示の継続によりJPX日経400銘柄に採用されました。
- ・地方銀行で唯一、時価総額および流動性の高い大型株としてTOPIX100の銘柄に採用され、10銭単位で株価を表示

JPX日経400とは

グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数です。



(出典)東京証券取引所のホームページより

個人投資家向け会社説明会を実施

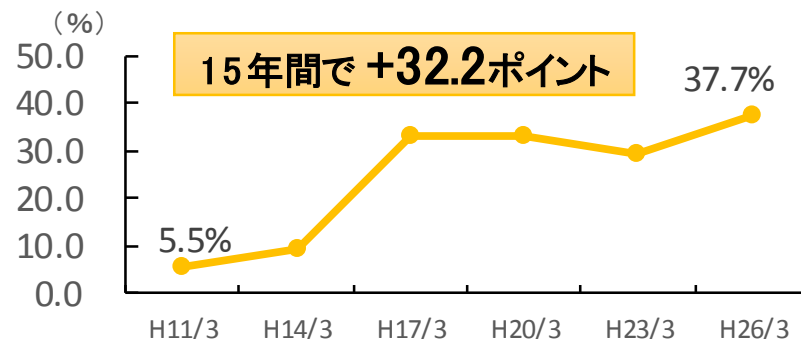
- ・定期的に「会社説明会」を実施しています。
- ・平成25年度は計10回、約1,000名の個人投資家の皆さまにご参加いただきました。

株主・投資家さま向けのホームページ

- ・業績のグラフなど、分かりやすく情報を掲載しています。

海外投資家からも選ばれる株式銘柄

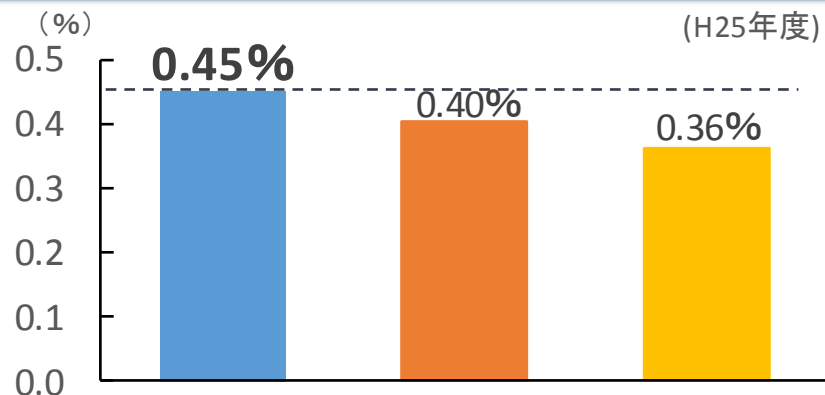
- ・成長戦略や、効率的な経営、高い株主還元率がグローバルに評価され海外投資家(外国法人等)の比率は37.7%となりました。



5. 横浜銀行と他行の違い

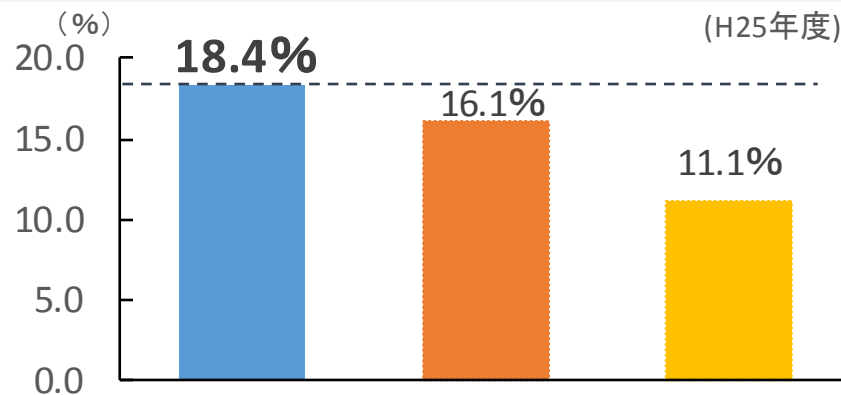
- 資産の効率的な配置により高い収益力と多様な収益源を確保し、高い株主還元率を実現しています。

総資産利益率(ROA)



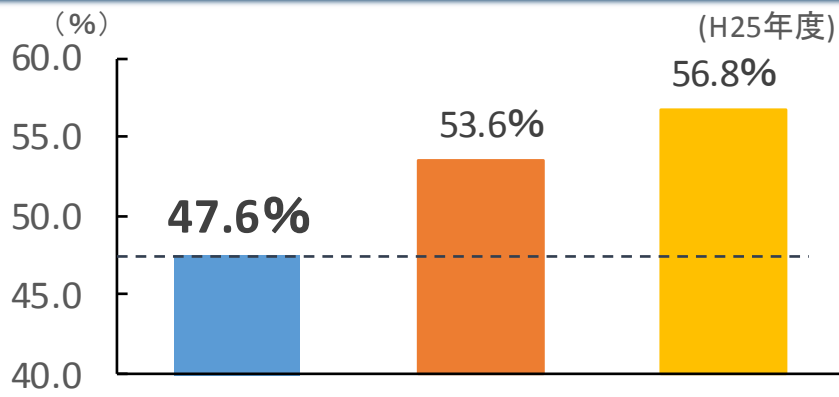
横浜銀行 メガ3行平均 上位地銀平均

国内役務取引等利益比率



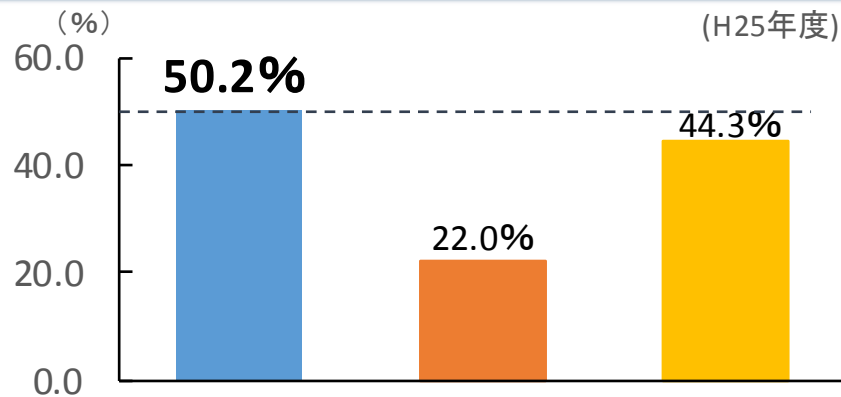
横浜銀行 メガ3行平均 上位地銀平均

低い経費率(OHR)



横浜銀行 メガ3行平均 上位地銀平均

高い株主還元率



横浜銀行 メガ3行平均 上位地銀平均

(注)上位地銀: 静岡銀行、千葉銀行、ふくおかFG、常陽銀行

6. 横浜銀行のさらなる成長

- 神奈川県と東京西南部の成長を取り込み、より地域のお客さまに選ばれる銀行になることにより、これからも成長し続けます。

成長の源

成長ポテンシャルの
高い営業地盤

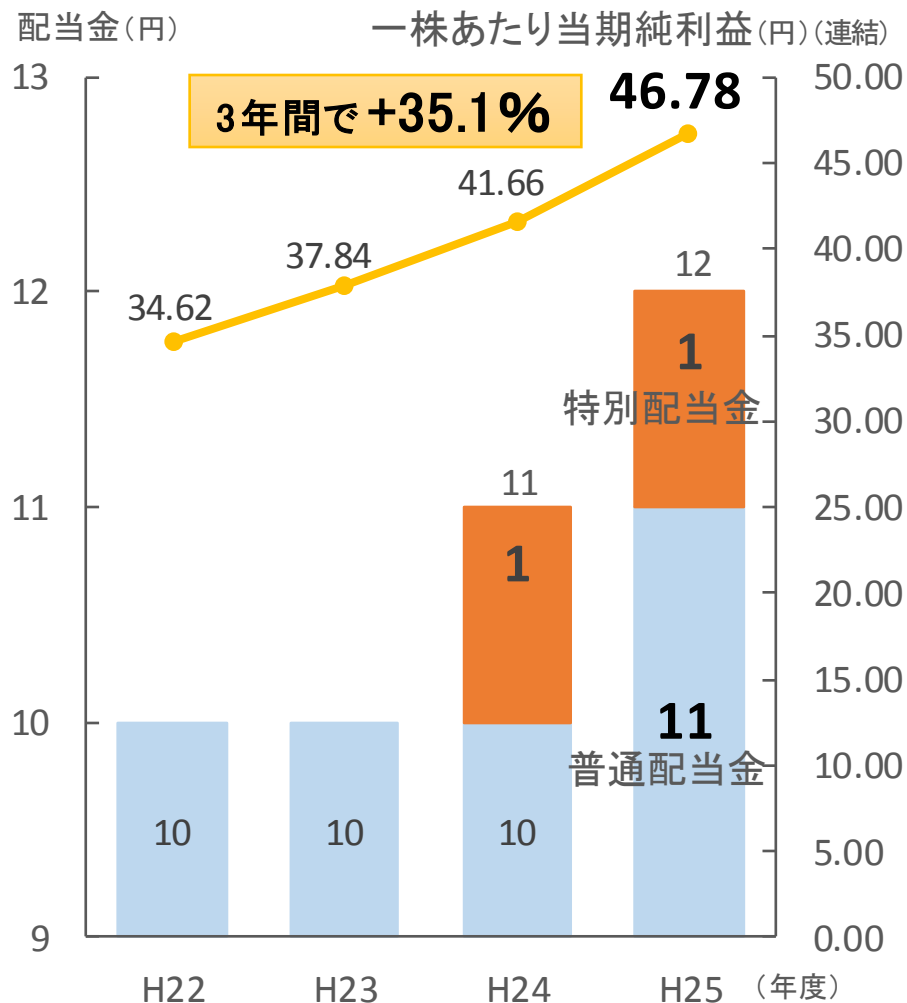
お客さまと構築した
深いリレーションシップ

多様な金融サービスを
提供できる人財

ビッグデータを活用した
先進的なマーケティング

磐石な経営基盤

一株あたり当期純利益と年間配当金



參考資料

参考資料～中期経営計画の概要

1. 名称

中期経営計画「Tackle for the Dream」

2. 計画期間

平成25年4月～平成28年3月(3年間)

3. 位置づけ

長期ビジョン(※)実現に向け、「磐石な営業基盤」を拡大・深化させ、「強靱な経営基盤」を維持・強化していく3年間

(※)長期ビジョン:お客さま、株主、行員、地域社会にとって魅力あふれる金融機関

4. 基本戦略

- ①個人のお客さまとの接点拡大と取引の深化
- ②法人・公共のお客さまの問題解決支援とメイン取引拡大
- ③市場運用のリスク・リターン向上
- ④効率的なオペレーションによる生産性向上
- ⑤強靱な経営基盤の維持・強化

5. 経営目標

- お客さまの問題解決に資するソリューションを提供し、お役に立つことで、お客さまに選ばれる銀行をめざしていく。
- 特に、地域のお客さまとの接点拡大・取引の深化を追求し、さらなる成長をめざしていく。
- 健全性、収益性、成長性のバランスが取れた銀行をめざしていく。

平成27年度における目標指標		平成25年度実績
個人メイン先数(注)	250万人程度	230万人
役務取引等利益比率(連結)	22%程度	22.9%
当期純利益ROE(連結)	7%程度	7.1%
当期純利益RORA(連結)	0.8%程度	0.91%
普通株式等Tier1比率(連結)	11%程度	11.97%
経費率(OHR)(単体)	40%台後半	47.6%
与信関係費用比率(単体)	0.15%程度	0.13%

(注)「個人メイン先数」は、当行を中心にご利用いただいているお客さまの数(当行定義)

参考資料～中期経営計画の進捗

	H24年度実績	中計1年目		中計3年目	
		H25年度計画	H25年度実績	H27年度計画	
単体ベース	業務粗利益	2,023億円	2,030億円	2,031億円	2,130億円
	うち国内役務取引等利益	317億円	356億円	373億円	370億円
	経費(▲)	964億円	990億円	968億円	1,040億円
	実質業務純益	1,058億円	1,040億円	1,063億円	1,090億円
	与信関係費用(▲)	151億円	130億円	125億円	140億円
	経常利益	864億円	870億円	923億円	920億円
	当期純利益	533億円	535億円	587億円	590億円
	経費率(OHR)(中計目標指標)	47.6%	48.7%	47.6%	40%台後半
与信関係費用比率(中計目標指標)	0.16%	0.13%	0.13%	0.15%程度	
連結ベース	業務粗利益	2,226億円	2,220億円	2,240億円	2,300億円
	うち役務取引等利益	445億円	480億円	515億円	510億円
	経常利益	950億円	935億円	1,022億円	1,000億円
	当期純利益	553億円	545億円	606億円	610億円
	役務取引等利益比率(中計目標指標)	20.0%	21%程度	22.9%	22%程度
	当期純利益ROE(中計目標指標)	6.8%	7%程度	7.1%	7%程度
	当期純利益RORA(中計目標指標)	0.82%	0.8%程度	0.91%	0.8%程度
普通株式等Tier1比率(中計目標指標)	11.28%	11%程度	11.97%	11%程度	
個人メイン先数(注)(中計目標指標)	229万人	235万人程度	230万人	250万人程度	

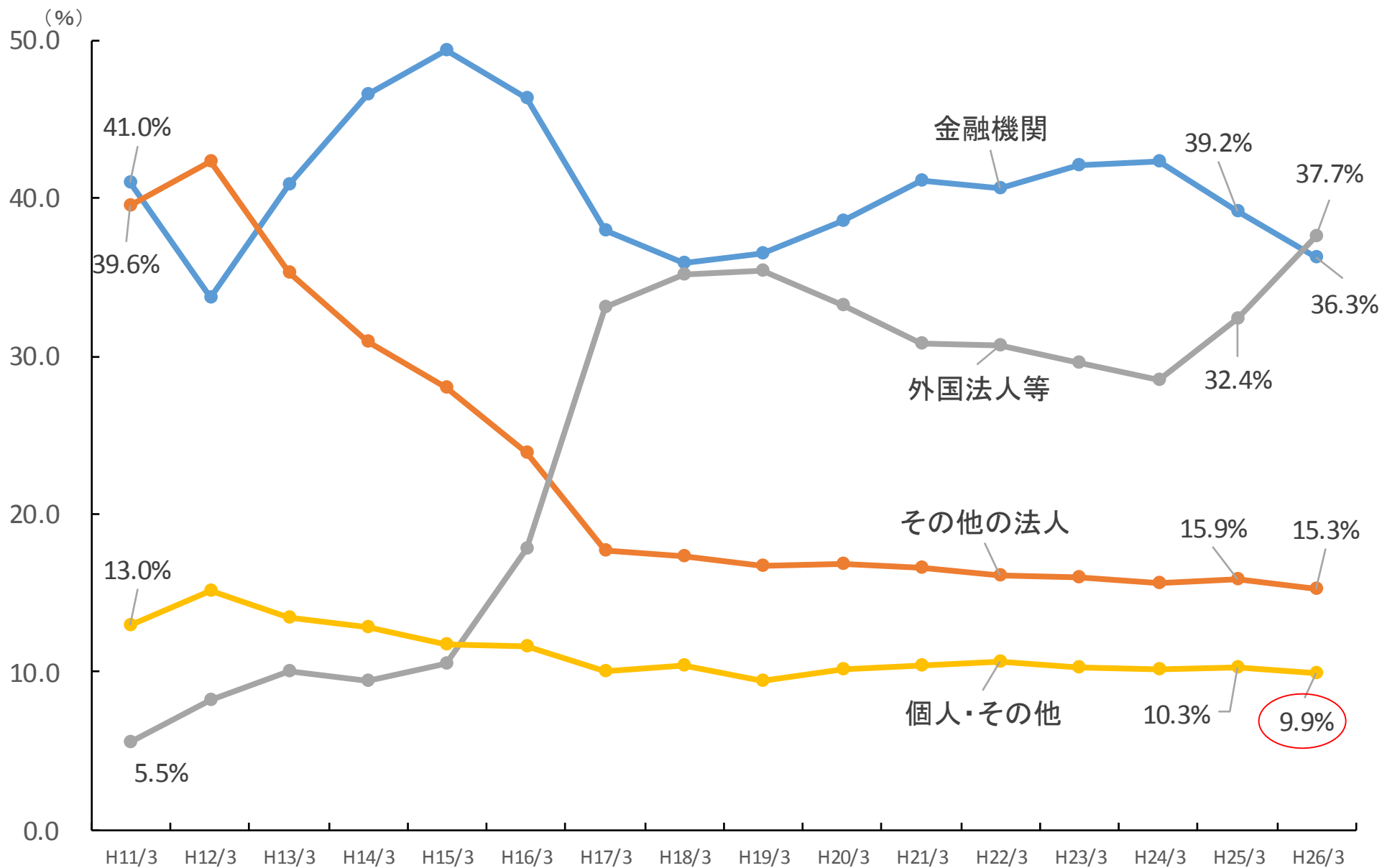
(注)「個人メイン先数」は、当行を中心にご利用いただいているお客さまの数(当行定義)

連結・単体財務損益の推移

(単位:億円)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結
業務粗利益	2,051	2,240	2,036	2,226	2,023	2,226	2,031	2,240
実質業務純益	1,064	1,191	1,053	1,169	1,058	1,179	1,063	1,179
与信関係費用	276	317	137	152	151	180	125	140
経常利益	749	816	870	963	864	950	923	1,022
当期純利益	454	470	491	511	533	553	587	606
預金	107,531	107,250	110,915	110,615	114,849	114,502	118,683	118,292
貸出金	86,441	86,018	90,171	89,703	93,898	93,439	95,051	94,535
有価証券	20,040	19,946	21,222	21,139	22,269	22,196	20,502	20,447
純資産	7,338	7,869	7,750	8,327	8,333	8,956	8,628	9,215
総資産	122,453	125,205	125,523	128,021	132,387	134,687	136,306	138,320

参考資料～株主構成比率の推移



Afresh あなたに、あたらしく。



Bank of Yokohama

事前に株式会社横浜銀行の許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。